

## コネクションマルチ定義の注意事項

DABroker のコネクションマルチ定義のうち「最大仮想コネクション数」および「通信処理プロセス数」と、ホスト(Database Connection Server)側の仮想空間の定義内容に矛盾がないかご確認ください。図1に定義内容の関係を示します。

DABroker は、以下のタイミングで Database Connection Server に対して TCP/IP コネクションを確立します。

- 「予約プールコネクション数」が設定されている(>0)場合、DABroker コネクションマルチ機能起動時に確立
- 「予約プールコネクション数」が設定されていない(=0)場合、最初のユーザアクセス要求時に確立
- 起動中の通信プロセスで実行可能なユーザ数(最大仮想コネクション数)を超えてユーザアクセス要求が来た場合、通信処理プロセスを新たに起動し確立

そして、これらの TCP/IP コネクションを確立する際に、「最大仮想コネクション数」に設定された数だけ仮想コネクションを予約します。次のような現象の場合、TCP/IP コネクションが確立できていません。

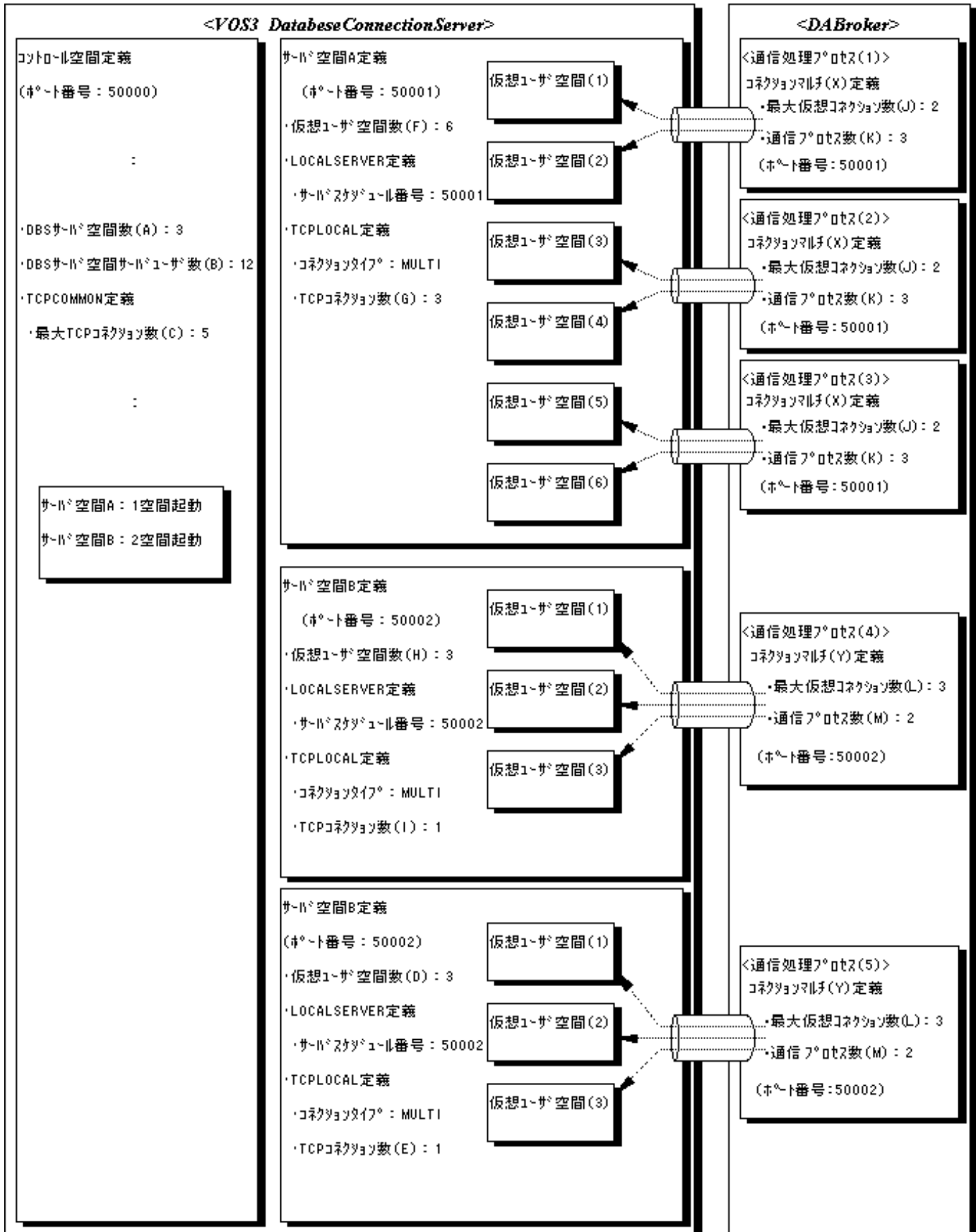
(1)ユーザ(DBPARTNER)に、「KFDB028CS-E コネクションマルチ通信プロセスを起動できません。接続できません。」が出力され、かつ DABroker のメッセージログ(dabsv.log)に「KFDB012CM-E 接続したサーバーシステムでシステムエラーが発生しました。[less than DABroker connection numbers, DABroker=2, Database Connection Server=1]」が出力された場合、DABroker の定義と Database Connection Server の仮想空間の定義との整合性がとれていない可能性があります。再度、定義内容をご確認ください。

例えば、Database Connection Server 側仮想空間で残っている「仮想ユーザ空間数」が1で、DABroker の「最大仮想コネクション数」が2の場合、DABroker から Database Connection Server に対して、TCP/IP コネクションは確立できますが、「最大仮想コネクション数」分の仮想コネクションの予約ができなくなります。このため、通信処理プロセスの起動処理でエラーとなり、1ユーザもアクセスできなくなります。この結果、ユーザ(DBPARTNER)に「KFDB028CS-E」、DABroker のメッセージログ(dabsv.log)に「KFDB012CM-E」のメッセージを出力し、通信処理プロセスを終了します。

(2) ユーザ(DBPARTNER)および、DABroker のメッセージログ(dabsv.log)に「KFDB008CS-E 接続できる最大仮想コネクション数を超えました。接続できません。[XXXX][MCONMAX=n, MCONPROC=m]」が出力された場合、純粋に DABroker 側の定義(「最大仮想コネクション数」×「通信処理プロセス数」)を超えてユーザのアクセス要求が来た可能性があります。定義内容を変更するか、しばらく待ってから再度接続してください。

(3)ユーザ(DBPARTNER)に、「KFDB028CS-E コネクションマルチ通信プロセスを起動できません。接続できません。」が出力された場合、(1)(2)以外の理由で、ホスト Database Connection Server 側との TCP/IP コネクションが確立できない場合や、ホスト Database Connection Server 側で接続エラーとなった場合が考えられます。このとき、DABroker のメッセージログ(dabsv.log)に詳細エラー内容のメッセージが出力されますので、こちらを確認する必要があります(もちろんホスト Database Connection Server 側メッセージも確認する必要があります)。

図1 定義内容の関係



<Database Connection Server 定義>

$$(1):(B) = (F)+(H)+(D)$$

$$(2):(C) = (G)+(I)+(E)$$

<DABroker 定義>

$$(3):(J) = (F) \div (G)$$

$$(4):(L) = (H) \div (I)$$

$$(5):(J) \times (K) \leq (F)$$

$$(6):(L) \times (M) \leq (H)+(D)$$

•DABroker 最大ユーザ数:(5)+(6)

以上